

【フランス】

1月の市場動向トピックス

- 2018年1月の訪日フランス人数は、前年同月比1.6%増の14,600人となり、1月として過去最高を記録。
- 航空会社各社との共同広告のキャンペーン運賃の適用期間であったことも、訪日需要の増加を後押ししたと考えられる。

1月の主なプロモーション活動

- 6月～7月に、仏テレビチャンネル「France 2」における朝の情報番組「Télématin」のリポーターTania Young氏とその取材クルーを招請し、金沢、高山、東京、鎌倉などで計8日間取材した。昨年10月の東京編、12月のフランス人駐在編に続き、1月26日に日本アルプスをテーマに、高山・金沢が紹介された。当該番組は、France2の公式ウェブサイト及びYoutubeにて視聴できる。

<https://www.france.tv/france-2/telematin/402207-partir-destination-les-alpes-japonaises.html>

<https://www.youtube.com/watch?v=O54OM17jdk>

- フランス市場では、ラグビーワールドカップ(RWC)2019を契機とした訪日意欲の喚起に積極的に取り組んでいる。まず、ラグビーファン向けのウェブサイト(フランス語版)を新たに開設。試合が開催される都市の観光情報などを発信することにより、訪日旅行に対する関心の喚起を図った。また、ラグビー専門誌「Midi Olympique」誌にて記事広告を実施。同誌は、フランスで発行されるラグビー専門誌の中で、年発行回数及び発行部数が最も多く、ラグビーファンのコア層である50代以上の男性に広く読まれている。訴求力の高い媒体に露出することにより、大会を契機とした訪日意欲の喚起を図った。



「Télématin」での放映



RWC ウェブサイト



「Midi Olympique」記事広告